



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試 験 報 告 書

第 407090133-001 号  
2007年(平成19年)10月01日

依 頼 者            株式会社 コンフォートジャパン

検 体            本報告書中

表 題            脱臭効果及びガス除去効果試験

2007年(平成19年)09月07日当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号  
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番  
彩都研究所 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

## 脱臭効果及びガス除去効果試験

### 1 依頼者

株式会社 コンフォートジャパン

### 2 検体

- 1) シリカゲル
- 2) 備長炭

### 3 試験概要

検体についてトルエンの脱臭効果並びにホルムアルデヒド及び*p*-ジクロロベンゼンのガス除去効果をガス検知管により試験した。

### 4 試験結果

試験結果を表-1~3及び図-1~3に示した。

表-1 トルエンの試験結果

(単位：ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体1)	40	23	23	23	23
検体2)	42	33	28	21	13
空試験	47	47	47	47	47

初期ガス濃度：約50 ppm

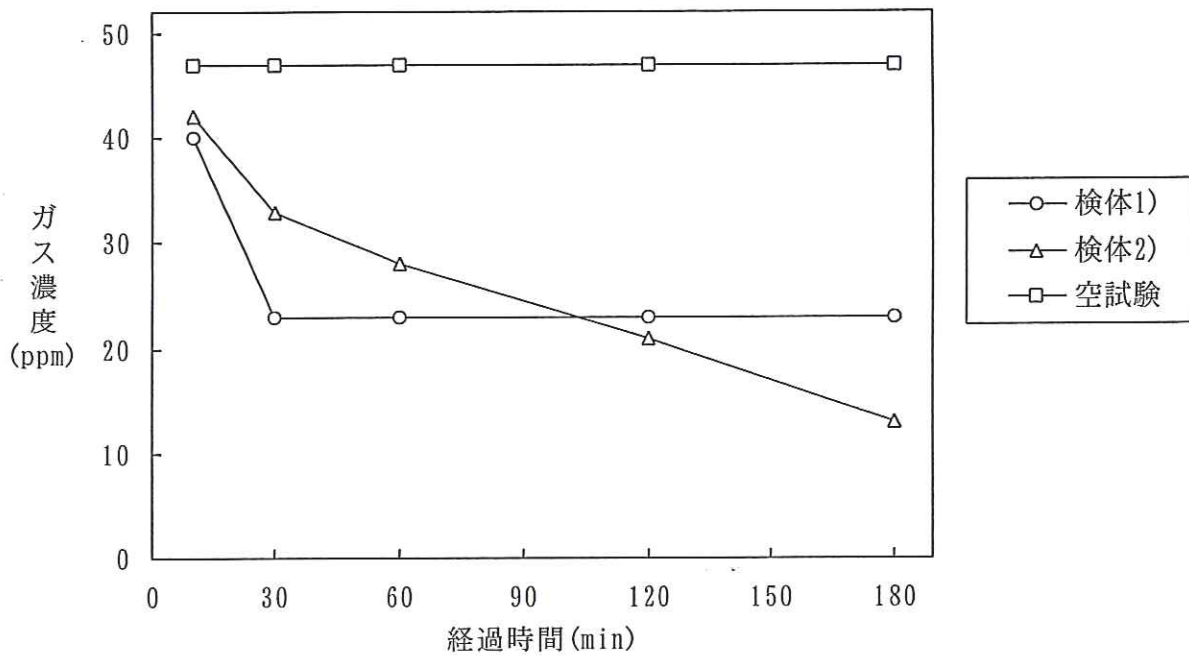


図-1 トルエンの試験結果

表-2 ホルムアルデヒドの試験結果

(単位：ppm)

試料区分	経過時間(min)				
	10	30	60	120	180
検体1)	10	5	3	2	2
検体2)	18	13	10	7	6
空試験	20	20	20	20	20

初期ガス濃度：約20 ppm

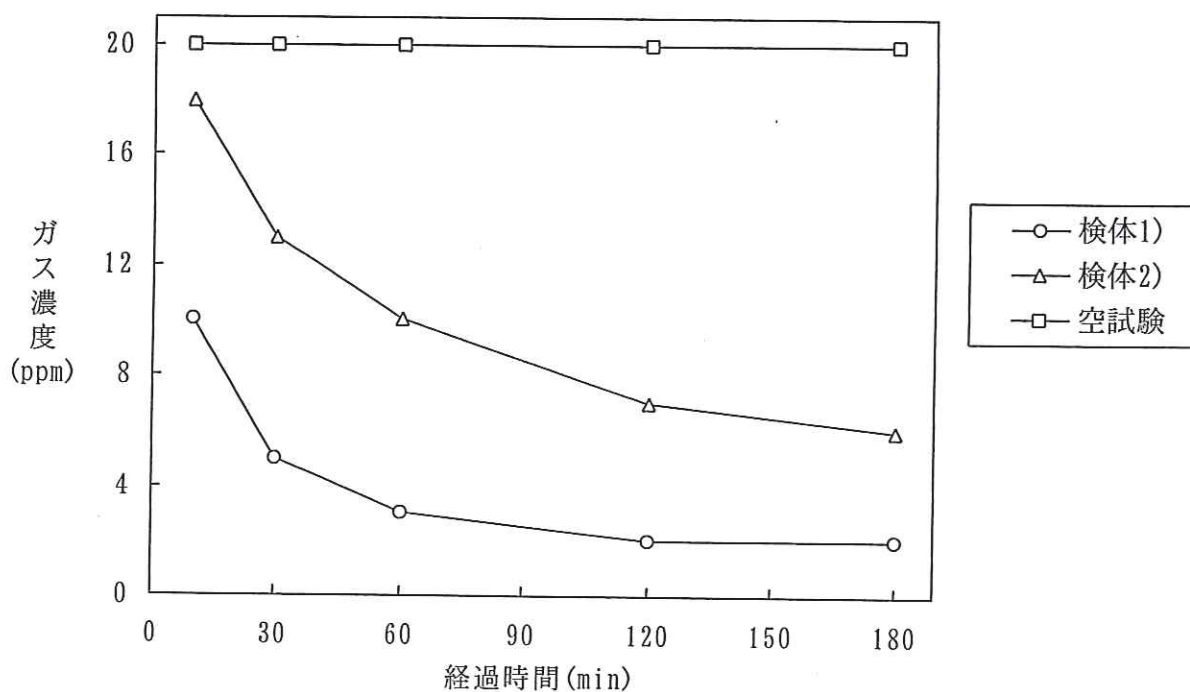


図-2 ホルムアルデヒドの試験結果

表-3 *p*-ジクロロベンゼンの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体1)	60	30	17	14	14
検体2)	70	60	42	26	10
空試験	100	100	100	95	90

初期ガス濃度 : 約100 ppm

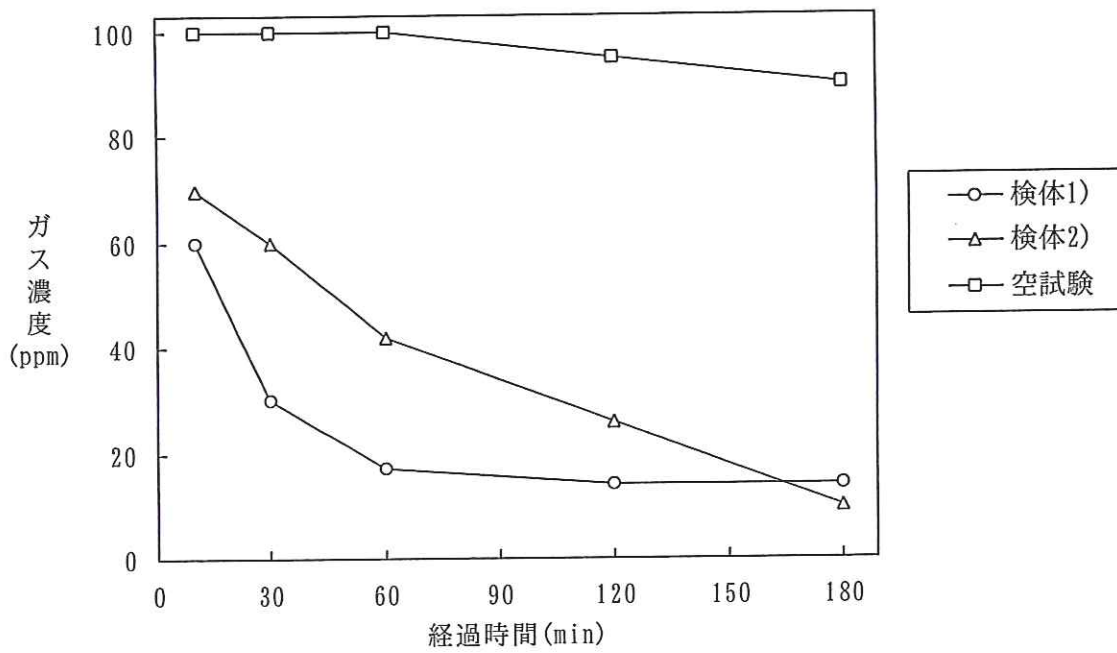


図-3 *p*-ジクロロベンゼンの試験結果

## 5 試験方法

### 1) 試薬及び器具

におい袋 (25 cm×40 cm) [有限会社 ミヤコビニル加工所]

トルエン：トルエン(特級) [小宗化学薬品株式会社] から発生させたガスを用いた。

ホルムアルデヒド：ホルムアルデヒド (36 %, 特級) [関東化学株式会社] から発生させたガスを用いた。

*p*-ジクロロベンゼン：*p*-ジクロロベンゼン(一級) [関東化学株式会社] から発生させたガスを用いた。

ガス検知管 [株式会社 ガステック]

### 2) 操作

検体をそれぞれにおい袋に入れ、ヒートシールを施した後、空気3 Lを封入し、設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。これを静置し、経過時間ごとに袋内のガス濃度をガス検知管を用いて測定した。また、検体を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。

試験条件を表-4に示した。

表-4 試験条件

検体使用量	1 g
試験対象ガス (初期ガス濃度)	トルエン(約50 ppm) ホルムアルデヒド(約20 ppm) <i>p</i> -ジクロロベンゼン(約100 ppm)
温度条件	室温
測定時間	10, 30, 60, 120及び180分

以 上